

吉川区

地域協議会だより

(第44号) 令和4年7月発行
発行 吉川区地域協議会
編集 たより編集委員会
事務局 吉川区総合事務所
総務・地域振興グループ
TEL 025-548-2311

令和4年度 吉川区に係る上越市地域活動支援事業

提案事業の審査終了 8事業を採択

今年度吉川区内で行う地域活動支援事業として、4月1日から4月21日まで提案を募集したところ、10事業、補助希望額673万9千円の提案がありました。これは、吉川区への配分額560万円に対して、113万9千円上回る内容でした。

これを受け、吉川区地域協議会では、5月12日に提案者によるプレゼンテーションを実施、審査、採点を行いました。

吉川区にとって有益な事業であるか否かをポイントに、5月19日に審査、採択を行った結果、8事業の採択を決定しました（内容は次ページ以降をご覧ください）。



○『吉川区と上杉家の繋がり』大乗寺遺産保存・伝承・振興事業

- ・提案者：大乗寺町内会
- ・補助金額：479,000円（事業費：484,180円）
- ・事業の概要：大乗寺の地名の由来となった「大乗寺」の住職は、上杉謙信にゆかりがある人物であり、大乗寺跡に建つ大師堂は、今も地域の人々が大切に守り続けている。歴史的遺産の価値を区内外に発信するため、講演会や武禱式を実施し、案内看板の設置を行う。



↑上越市「地域の宝」に認定された大乗寺の「五輪塔」

○落語寄席事業

- ・提案者：夢をかなえる会
- ・補助金額：299,000円（事業費：339,000円）
- ・事業の概要：新型コロナウイルス感染症の影響で沈滞した状況を、笑いで少しでも明るい方向に向かえるよう、上越市出身で吉川区とも以前からつながる「三遊亭白鳥さん」を迎え、寄席を開催する。



↑お知ろせの広告

○長峰城保存活用事業

- ・提案者：越後長峰城址保存会
- ・補助金額：1,000,000円（事業費：1,083,000円）
- ・事業の概要：長峰城址の整備、見学会を行うとともに、説明板や案内看板、普及パネルを作成するなど広報・啓発活動を行い、地域の宝として、長峰城址をPR、保存していく。



↑見学会（令和3年度実施）

○尾神岳パラグライダーランディング整備事業

- ・提案者：尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会
- ・補助金額：1,000,000円（事業費：1,000,000円）
- ・事業の概要：尾神岳スカイスポーツエリアの安全面の強化を図るとともに、更に多くの選手や一般フライヤーの集客が可能となる大きな大会開催を計画できるよう整備・改修する。また、パラグライダー大会に併せて尾神そば早食いイベントを実施し、賑わいを創出する。



↑尾神岳を飛び立つパラグライダー

○天岩戸尾神伝説 PR 事業

- ・提案者：水源地域振興対策協議会
- ・補助金額：800,000円（事業費：805,000円）
- ・事業の概要：紙芝居や御朱印の作成、岩戸伝説の地の周辺整備を行い、市内外に発信してきた「悠久の歴史かおる尾神岳伝説（天岩戸尾神岳伝説）」の更なるPRと賑わい創出を目指し、散策道の整備、のぼり旗やPRチラシの作成、現地説明会・講演会の開催などを行う。



↑岩戸伝説の地（尾神地内）

○「地域のお宝自慢」探検隊事業パート2 地域のお宝マップづくり事業

- ・提案者：吉川区青少年育成会議
- ・補助金額：494,000円（事業費：564,000円）
- ・事業の概要：地域の伝統行事・料理、文化財、特産品、景観等のさまざまな地域の魅力について、子どもたちが地域の人からの聞き取りや現地調査・文献等を通して、地域の魅力を再発見し、「お宝自慢カード」にまとめグループごとに「地域のお宝自慢集」を作成する。



↑活動の様子（パート1 令和3年度実施）

○吉川区昭和と平成の記憶記録事業

- ・提案者：里山文化研究会
- ・補助金額：350,000円（事業費：378,000円）
- ・事業の概要：地域のオーラルヒストリーを記録(DVD化)することで、吉川区という地域から見た昭和の時代の社会の変化を描く。地域の歴史証言を記録し、地域の将来文化の礎を築く事業に取り組むもの。



↑インタビューの様子（令和3年度実施）

○よしかわ道の駅活性化促進事業

- ・提案者：吉川観光協会
- ・補助金額：591,000円
（事業費：592,000円）
- ・事業の概要：よしかわ杜氏の郷、ゆつたりの郷、四季菜の郷、くつろぎ長屋、トイレなど道の駅各施設の配置や紹介、年間行事やイベントを掲載した「よしかわ道の駅案内図」を製作し、区内住民や来訪者に配布する。また、案内図完成と同時に芸能イベントを開催する。



↑よしかわ道の駅（長峰温泉ゆつたりの郷、よしかわ杜氏の郷）

市長と意見交換会を行いました

令和4年5月26日、中川上越市長と吉川区地域協議会委員で意見交換を行いました。

当協議会委員7人が参加し、上越市役所木田庁舎で、市が行う地域自治推進プロジェクトや第7次総合計画、観光振興、公共交通などについて、約1時間に渡り市長と意見を交わしました。

意見交換の中で市長は、「(地域協議会の皆さんには)吉川区の魅力とは何なのか、外から来られた人の視点も踏まえながら、もう一度考えてみてほしい。そして地域住民の皆さんには、自分たちの区、上越市を愛してもらい、それを子どもたちにも伝えて行ってほしい」と話し、「地域を愛する」ことが政策の原点であることを強調しました。

地域協議会からは、「住民が本質を理解しないまま市の事業が進む」「地域協議会への協議や説明がないまま地域に入る」ことがないよう改めて話すとともに、「地域に密着したやさしい行政」をお願いしました。



皆さんの意見をお聞かせください！

地域協議会では、今後、吉川区の地域活性化の方向性について検討します。

「こんな事業をしたら吉川は元気になるんじゃないか」「こうなったら吉川はもっと良くなるのに」「吉川区の魅力はコレ！それを伸ばしていこうよ」など、気軽に地域協議会にアイデアやご意見をお寄せください。

詳しくは吉川区総合事務所・総務地域振興グループまでお問い合わせください。



【編集後記】 早いもので、5期目の地域協議会も後半となりました。

今年度で地域活動支援事業は終了し、来年度からは、吉川区が直面する多くの課題の解決や吉川区の実情を考え将来を見据えた事業を、地域で提案していくこととなります。

個人的には、自然豊かで安全安心に暮らせる魅力ある吉川区をアピールしつつ、今までにない独自の発想で、若者も定住しやすい地域を目指す必要があると思います。また、吉川区特有の温泉や酒文化の伝統を次代に継承することも大事なことで考えます。

住民の皆さんや地域で活動する団体の皆さん、総合事務所、地域協議会が声を出し合い、一緒になって、これまで以上に地域のことを考える必要があります。

地域の皆さん、ご協力お願いします。

